

## 教科目名 現代英語 I (Modern English I)

専攻名・学年 : 全専攻 2 年 (教育プログラム 第 4 学年 ○科目)

単位数など : 選択 2 単位 (前期 1 コマ, 授業時間 23.25 時間)

担当教員 : 穴井孝義

授業の概要			
1 年次の「英語コミュニケーション演習」では、TOEIC 系問題集を使ってコミュニケーション力向上を図ると同時に Writing 力と Speaking 力の向上にも取り組んだ。本講義では、卒業後の進学・就職を控える最後の学年という位置づけから改めて英語 4 技能全てにおいて英語力向上を図るべく、TOEIC 系の問題集を使って現代英語の実践演習を継続すると同時に、的確なコミュニケーションを図るために文法・語法演習も含めたコミュニケーション活動を展開する。			
達成目標と評価方法		大分高専目標 (G2), JABEE 目標 (f)	
(1) Listening 活動を通し、英語の大意が的確に把握できるようになる。(定期試験)			
(2) Reading 活動を通し、英語の大意が的確に把握できるようになる。(定期試験)			
(3) 英語の文法・語法を理解してそれらを的確に使いこなせるようになる。(定期試験と小テスト)			
(4) Show & Tell 活動を通し、Writing 力及び Speaking 力が高まる。(課題)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1	授業オリエンテーション		【理解の度合い】
2	コミュニケーション活動	*毎回のコミュニケーション活動: (1) ペアワークによる英会話練習 (2) Show & Tell 活動 (3) Listening 演習 (4) Reading 演習 (5) 文法・語法演習 (上記(2)~(5)は評価の対象)	
3	同上+小テスト		
4	コミュニケーション活動		
5	同上+小テスト		
6	コミュニケーション活動		
7	同上+小テスト		
8	前期中間試験		TOEIC 系応用問題を含む
9	前期中間試験解説と学習指導		
10	コミュニケーション活動+小テスト		
11	コミュニケーション活動		
12	同上+小テスト		
13	コミュニケーション活動		
14	同上+小テスト		
15	前期期末試験	TOEIC 系応用問題を含む	【試験の点数】 点
	前期期末試験の解答と解説		
履修上の注意	*演習主体の授業を展開するので、欠席しないように心がけること。 *2 回に 1 回の割合で「文法・語法」の単元毎に小テストを実施するので、事前学習を徹底させておくこと (評価の対象)。 *授業には英和 (和英) 辞書を必ず持参すること。 *TOEIC 系教科書の Reading に関する問題は、事前に自分なりの解答を記しておくこと。		【総合達成度】
教科書	鶴岡公幸, Matthew Wilson 著, 「The TOEIC Test CIRCUIT」, 松柏社。		
参考図書	英和 (和英) 辞書, 英語参考書		
自学上の注意	*文法・語法に関する小テストは一つの単元を試験範囲とするので、事前に英語参考書を使ってしっかりと学習しておくこと。 *Show & Tell は、事前に英語原稿を執筆し、それを正確に暗記して発表できるようにしておくこと。 *復習して内容を理解した後は、必ず音読を繰り返して行うこと。		
関連科目	英語コミュニケーション演習, 現代英語 II		
総合評価	達成目標の(1)~(4)について定期試験(2回)+文法・語法に関する小テスト(6回)+課題で評価。総合評価=定期試験(80%)+小テスト(15%)+Show & Tell(5%)。総合評価は 100 点満点で 60 点以上を合格とする。再試験は 1 回のみ実施。		【総合評価】 点